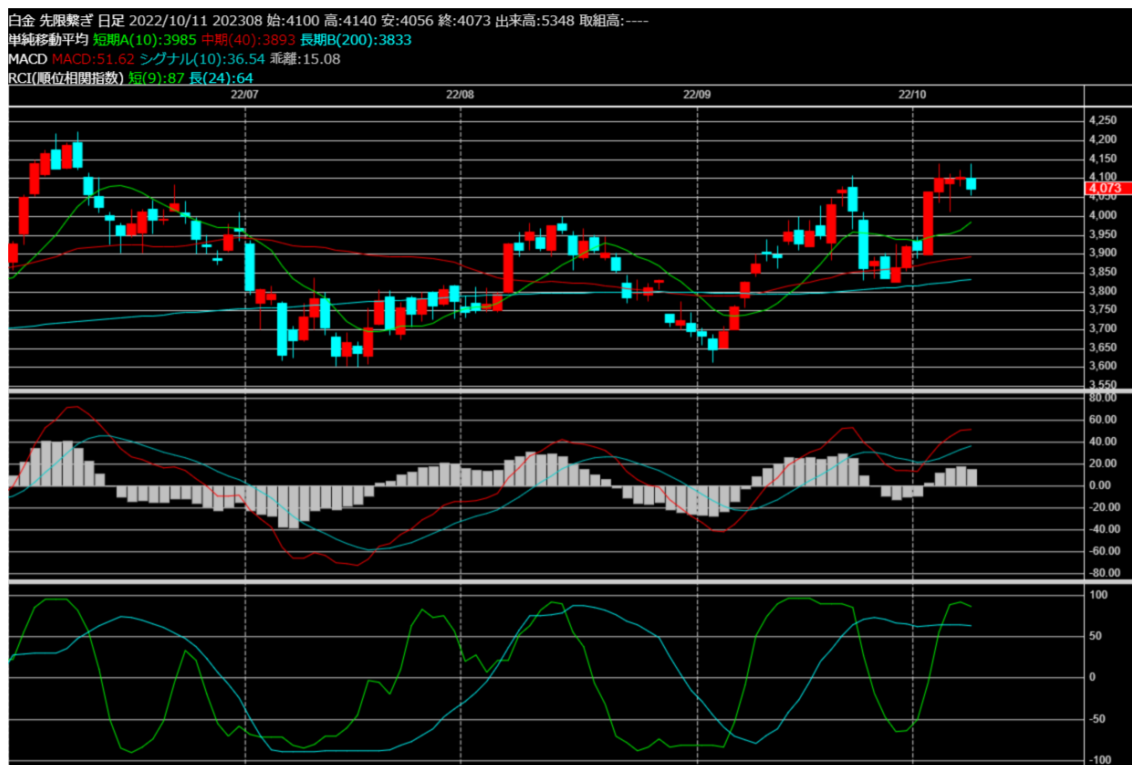


＜白金標準先物、LME の制裁処置観測と中国の景気減速の綱引き・・・＞



(出所：オアシス)

英国財務省は 45%の税率を 40%へ引き下げる減税処置を撤回し、リスクの巻き戻しで白金標準先物が 4000 円を回復すると、EU の対ロシア制裁処置でロンドン取引所（LME）はロシアのアルミの大手ルサルとニッケルの大手であるノリリスクの LME 指定倉庫の使用禁止処置の協議を開始している。特に 2021 年 2 月に白金標準先物が 4524 円まで高値を試した要因がノリリスクの 2 鉱山の水没事故に伴う操業停止であり、先週の 4100 円以上を試す値動きを支えた要因に思える。しかし週末の雇用統計では、失業率の低下で 11 月の FOMC における 0.75%の利上げ観測が高まりを見せてドル高の動きを強めながら、白金標準先物も 4056 円まで下値を試している。

また中国の財新サービス業 PMI は、8 月の 55 から 9 月は好不景気の分岐点である 50 を下回る 49.3 となり、ゼロコロナ政策の弊害が中国の景気を押し下げており、白金価格を押し下げる要因に結び付く材料でもある。そのため 12 日の FOMC 議事録公開や 13 日の CPI の発表などのイベントを控えており、インフレ抑制の高まりからリスクオフの値動きに注意が必要と思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** の上昇が止まり、**シグナル**は上昇するなど乖離幅が縮小している。RCI は**短期**が切り下げだし、**長期**は横ばいを示すなど、オシレーターはピークアウトに近い形を示唆している。特に 4140 円の高値で**ダブルトップ**を示すなど、弱気を示すサインに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,491,000 円(2022 年 10 月 11 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 10 月 11 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>